

3月3日から

市民農園の利用者を募集



①小栗山農村交流公園内農園

②相馬昂農園

①小栗山農村交流公園内農園

1区画の面積	区画数	年間使用料
50㎡	100	5,230円
48㎡	21	5,020円

※ハーフバスケットコートや多目的広場は無料で利用できます。
児童が利用できる学童農園、車いすで利用できる農園はそれぞれ無料です（要事前相談）。

②相馬昂農園

1区画の面積	区画数	年間使用料
30㎡	158	3,140円
21㎡	6	2,200円
19㎡	4	1,990円

※農園利用者は、管理棟や炊事棟が無料で利用できます（その他の人は有料で利用可能）。

4月に開園する①小栗山農村交流公園内農園（小栗山字沢部）と②相馬昂農園（湯口字二ノ安田）の利用者を募集します。

対象 農家以外の市民

申し込み方法 3月3日(月)～14日(金)の平日に、各申込先に備え付けの申請書に必要事項を記入し、郵送か各窓口に持参で。

※申請書は市ホームページからもダウンロード可能／①は、Eメール（申請書を添付）でも申し込みができます。

その他 いずれも申し込み多数の場合は抽選で決定します。

問い合わせ・申込先

①農政課地域経営係（〒036-8551、上白銀町1の1、☎40-7102、✉nousei@city.hirosaki.lg.jp）

②相馬総合支所総務課農林係（〒036-1592、五所字野沢41の1、☎84-2111〈内線805〉）



上記の2カ所のほか、農業者などが運営する市民農園も利用できます。詳細は、各市民農園にお問い合わせを。

■市民農園ナリタ（乳井字石田、☎090-2604-7512または☎92-3778）

○1区画50㎡＝20区画、年間5,000円

■市民農園向日葵（宮地字川添、☎82-1055）

○1区画50㎡＝52区画、年間5,000円

市立博物館企画展3

佐野ぬい追悼展 モノクローム、そして ブルー blue

2月22日(土)～5月6日(火) 振休

午前9時30分～午後4時30分

休館…3/17(月)、4/21(月)

弘前出身の洋画家・佐野ぬいは、青色を基調とした抽象画を描き、「青の画家」と称されます。2007～2011年には女子美術大学学長を務め、2012年には瑞宝中綬章を受章するなど、現代の日本を代表する洋画家の1人です。その活躍から2015年に弘前市名誉市民となりました。博物館では、2023年に逝去した佐野ぬいをしのび、追悼展を開催します。

観覧料

一般＝300円／高校・大学生＝150円／小・中学生＝100円

※障がい者、65歳以上の市民、市内の小・中学生や外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。年齢・住所を確認できるものの提示を。

イベント実施日を除いて、会期中の8日・18日・28日は午後2時から学芸員によるミニ解説を実施します。

問い合わせ先 市立博物館（下白銀町、☎35-0700）

●関連イベント

2月22日(土)～3月1日(土)は、ロビーにステンドグラス作品を展示します。

※3月1日(土)は制作体験あり（有料）



▲佐野ぬい「弘前ねぶた」（個人蔵）

■編集発行 弘前市企画部広聴広報課 〒036-8551 弘前市大字上白銀町1-1 ☎35-1111 FAX 35-0080

■公式X（エックス）https://x.com/Hirosaki_City

※「広報ひろさき」は市の主な施設や市内の金融機関、郵便局、スーパーマーケットなどにも備えてあります。

「広報ひろさき」録音版の配布を希望する人は障がい福祉課（☎40-7036）へ。



市公式LINE

ひろさき

2025

2

No.451

広報ひろさきを
アプリで配信



フチャイロ



UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしいインキを
使用しています。